
ラグビー 京都産業大学

[リーグ最下位～平成20年12月](#)

[Tomorrow is another day～平成21年12月](#)

[やめよっかナ～平成22年11月](#)

[応援やめたっ！～平成23年11月](#)

[歴史～平成24年12月](#)

[フェイスブックで綴る～平成25年12月](#)

[起承転結～京都産業大学ラグビー](#)

[なんだかなあ～京都産業大学ラグビー](#)

[Hall of Fame～京都産業大学ラグビー](#)

[感動～京都産業大学ラグビー](#)

[伏見の2番～京都産業大学ラグビー](#)

ドリーム～スクラムトライ

富士山の上で、なすびを食べていたら、鷹が取り上げてった～なんて初夢見たいですね。お正月の分厚い新聞を開くと、10枚買った1等3億円の年末ジャンボ宝くじすべてが当たって、賞金30億円～！そんな夢のような現実直面した～いと思うお代官様。

ドリーム・夢って素敵ですね。子供の頃は、サンタさんに会いたいとか、空を飛びたいなんて壮大な夢を語っていましたが、年齢を重ねるごとに、現実的な夢を語るようになりましたね。

夢が叶う人は、ほんの僅かかもしれませんが、夢が方向転換したり、メタモルフォーゼしたりすることもあるとは思いますが、夢に向かって、まずはアクションを起こすことが、一番大切ですよね。



毎年、寒い時期になると熱中するのがラグビー。アドバンテージにオフサイド・・・いまだに観戦してわかんないことだらけですが、ゴツゴツ当たって、楕円球を15人で繋ぐ姿を見ただけで熱くなれます。

最初は、在学中に自分の大学のチームが全国レベルであることを知り、花園ラグビー場に出かけたことから始まります。応援歌を合唱したり、「そうだコール」に、ここのスクラムの際、バックスタンドを占拠する「押～せ！」の連呼。柏学長から新田学長、現在のラグビーファンの鏡・坂井東洋男学長と移り変わり、看板選手も、前田、田倉、吉田明、広瀬、大畑、平田から現在の田中史と移り変われども、得意技はフォワードプレイ、スクラムにこだわり続けるチーム、大西監督が創部以来率

いる京都産業大学を応援しています。



関西の雄、無敵の同志社大学から公式戦初勝利。関西リーグ制覇。嵐の平和台で、どうしても勝てなかった早稲田大学に辛勝。決定力のあるバックスを保持しながらも、最後までスクラムにこだわって関東学院大学に敗戦した国立競技場。喜びも悲しみも数十年、スタンドで見守り続けています。

今シーズン(平成18年)は、大阪体育大学に敗戦した翌週、最後の最後まで鉄壁のディフェンスで耐え続け同志社大学から8年振りの勝利をもぎ取って、関西リーグ第2位で全国大学選手権に出場です。



こんな私の夢は、京都産業大学ラグビー部の全国大学選手権優勝。大西監督が、胴上げされて、アナウンサーの台詞は、「京都産業大学、悲願の初優勝、歓喜の涙！決勝点は、伝家の宝刀、創部以来こだわり続けた伝統のスクラムであげた5点です！」

そんな日が来たら幸せでしょうね。スクラムトライに向けて応援歌を捧げます。

魔王の怒りが吹きすさぶ 鞍馬風のただ中を
縦横無尽に馳せめぐる 若人の意気いや高し
産大 産大 京都産大 京洛の誇り京都産大！

魂のスクラム～平成18年12月

スコアは3対7、残り時間はあとわずか、敵陣5m付近での攻防戦。

レフリーの再三の注意にもかかわらずコラプシングを繰り返す帝京大学。

得意のフォワードで押しまくる京都産業大学。

スクラ～ム・・・またもやコラプシング！ロスタイム1分のアナウンスが聞こえる中、最終警告をするレフリー。京都産業大学、魂のスクラムで勝利を手中にするか～！

エンゲイジ！故意に遅らす帝京大学！レフリーの判定は？

ゴールポストの真下まで大股で歩いて、右手を大きく上げて長い笛！！

魂のスクラムで奪い取った認定トライだ～！



集中力で押し勝ったフォワード、最後まで1トライだけに抑えてきたバックス、ケガからの復帰後で本調子が出ずに途中交代した小西キャプテン、ここまで導いた大西監督・クリスコーチをはじめとするスタッフの皆さんから、「押せ押せコール」のサポーターまで・・・ラグビー精神でもある“*One for all, all for one*”が目一杯詰まった、みんなであげた認定トライ。ピッチもスタンドも一体化した歓喜の瞬間でした。

平成18年12月17日花園ラグビー場で開催された、京都産業大学対帝京大学の大学選手権1回戦は、10対7の僅差で京都産業大学の逆転勝利。2回戦は24日・同じ花園ラグビー場で法政大学を迎え撃ちます。

さてさて、今年はどこまで躍進するのやら？東高西低の大学ラグビーに風穴を開けられるのでしょうか？夢が叶うかな？久々にワクワクする年末。魂のスクラムに期待です。



クリスマスプレゼント～平成18年12月

「狙います。」

後半39分スコアは、26対28。

背番号17、今日は途中出場のキャプテン小西の決断。



嵐の平和台。初めて早稲田大学に勝利した試合で、当時のキャプテン吉田明が、敵陣深く攻め込みながらも冷静に選択したPG。スタンドからは疑問の声が巻き上がる中、誰かが言った「明が決めたことやから、それで正しいんや～！」という支援の一声でスタンドも納得。PG成功。この選択が、

初の勝利を呼び込んだのかも知れません。

当時のカリスマキャプテン吉田明は、現在チームのコーチで、タッチラインの外から「ネチネチ行け～！フォワードで攻め込め～！」と大きな声を出しています。展開力で勝る法政大学。今回は、ラインアウトでノーミスのフォワード陣と、冴え渡る動きのSH田中史朗に、当たっているキッカー徐忠植の京都産業大学。取っては取られのシーソーゲーム。勝利の女神はどちらに微笑むか。平成18年12月24日。世間はクリスマスイブで浮かれる中の花園ラグビー場で開催された全国大学ラグビー選手権2回戦は大詰めです。敵陣10m。法政大学の反則。大西監督が、明が、スタンドのサポーターが、ゴールポストを指差す。



徐忠植のキックは、二つのゴールポスト上のだ真ん中を通過。

スコアは29対28。ロスタイム3分。どうか逃げ切れそうですよ。

法政大学の最後の攻撃・祈る気持ちで応援するスタンド。ピッチでは、なんと相手ボールをむしり取って、キャプテン小西がダメ押しのトライ。結果36対28でノーサイドとなりました。

ほんまかいなの大勝利。私たちには、何よりのクリスマスプレゼントとなりました。

次は、1月2日。東京は国立競技場での早稲田大学戦。

頼んだぞ小西組！ええ夢見せてくれよ！！

夢の途中～平成19年1月

パスインターセプト！

ウイング江藤大和、早稲田大学のパスを奪い取っての先制トライ！

赤紺のフラッグが、国立競技場のバックスタンドに舞う！歓喜の大応援団！

意気上がるフィフティーン！前半10分、京都産業大学、2年連続の学生チャンピオン早稲田大学から先取点・・・バンザイ、バンザ～イ！



2007年の正月は、ラグビーから。大学選手権・準決勝は1月2日東京・国立競技場でキックオフです。1日は横浜・中華街で夕食、2日は明治神宮に願掛けを兼ねて初詣。久々の東京で、カメラ片手

にウキウキ。

「勝ってくれるかな～けど、相手は、優勝候補筆頭のアセダやし。負けるかな～ ナイスゲームして欲しいけど、国立で勝った実績無いし。もし勝てば泣けるだろうな～産大、全国制覇の夢が叶うかな…ええ夢見せてくれよ。」

前半10分・7対0で京都産業大学のリード。7対5、7対10、前半を終え7対17で、早稲田大学のリード。後半を終えたら、なんと12対55で早稲田大学の横綱相撲。

希望を言えば、前半のリードしていた時点でノーサイドにしてくれたら、勝利だったのですが…セットプレー、球に対する執着心、相手の弱点を見抜く力、戦術を変更した際の適応力と何を取っても、早稲田大学のほうが勝っていた結果ですよね。(けど、フォワードだけは、負けてまへんで～！)



けれども、今シーズンのチームは、試合を重ねるたびに強くなる『まとまりのあるチーム』で、ホント…ええ夢見せてもらえました。

来年も、今年以上のチームで、国立に連れてって下さい。そして、夢を実現させ…スタンド・ピッチが一体となって、学歌を斉唱しましょう！

現在、夢の途中。その時に備えて練習しておきますか！！

天地(アマツ)の闘けし時ゆ 神々の鎮まりませる
神山のその本山に 産業(ムスビワザ)学び勤はく
逞しき 逞しき われら若人 次の世のわが日の本を
ああ担いて 担いて立たむ

POWER UNIV.～平成19年4月

平成19年4月8日。京都産業大学神山球技場の柿落としのイベントとして、日本ラグビーのルーツ慶応義塾大学ラグビー部を迎えての一戦が開催されました。



偶然ながらも前日は、『神山スピリッツ、産学協同』を広く提唱してきた先々代学長・柏祐賢氏の葬儀。

そして今日は、『自由のなかで鍛えられる大学であるために、厳しさのなかで成長できる大学であるために、「POWER UNIV.」をフラッグシップに進んでゆく』という新しいスローガンを掲げた京都産業大学の新生グラウンドの誕生の日です。吹奏楽部の演奏に続き両チームの入場。



坂井東洋男学長による熱い挨拶は、

「一昨年の大学選手権・雪の名古屋にて12対14で敗戦した相手・慶応義塾大学を新しいグラウンドにお迎えできたことを光栄に思い、この一戦をきっかけにして昨年の躍進があったこと。また、産大ファンは相手をけなすことなく、自分のチームを応援することに集中する熱い集団で、新しい人工芝のグラウンド開設と共に、よりいっそう熱烈に応援を続けたい。そして選手各位もこのグラウンドにふさわしい練習・精進・努力を積み重ね、今シーズンの国立競技場での大学選手権決勝は、慶応義塾大学対京都産業大学となることを願う。」

という力強い内容で、さすがラグビーファンの鏡！と今日のこの日のセレモニーに参加した一同をうならせました。



続いて学長、レフリーを交えてグラウンド中央での記念撮影後、キックオフ。

時期的に新生はまだピッチに立つこともなく、新チームとしては始動状態でしたが、伝家の宝刀スクラムは健在。事実、初トライは昨年の帝京大学戦を思い出させるスクラムによる認定。以降は、ラインアウトの安定、こぼれ球に対する集中力、ハーフ陣のパスワーク等の課題は残しましたが、いつものフォワードプレイにバックスへの展開ありで、結果は21対28ながらも今シーズンの躍進を期待させる敗戦となりました。

さてさて、人工芝の新しいグラウンドを手にした京都産業大学ラグビー部は、私たちが国立に連れて行ってくれるのでしょうか？



博多～平成19年12月

関係者筋の情報によれば「選手のモチベーション、監督とのコミュニケーション共に最高。今日は勝利あるのみ。」

関西リーグ、ここまでの成績は最悪。同志社大学相手にノートライで敗れ、西京極では立命館大学の集中力に完敗。セットプレーができてない、ディフェンスのタックルが高い、SHのパスが遅い、スクラムの要がケガで欠場、レフリーが悪い、場所が悪い、日が悪い・・・

2007年12月1日、全国大会に向けて苦手の大阪体育大学とのリーグ最終戦。勝てば2位、負ければ4位(今シーズンの全国大会1回戦の日程は、1位と3位が花園、2位なら博多、4位は名古屋)・・・応援席の気分は、名古屋かな？

前半戦、凡ミスでチャンスをつぶす両チーム。SH鈴江のパスのテンポが悪く、ちぐはぐな攻撃で、フォワードとバックスが機能せず、得点も終了間際のPGのみで3対0で折り返す。

後半戦、最初のトライは大体大。フォワード・バックス一体となった理想的な展開でヘラクレス軍団の底力を見せつけられて3対7。やっぱり名古屋？けれども、今日のフォワードは出来が良い。強いフォワードが復活するかも・・・

「押せ押せ産大！」

時間は後半20分過ぎ。敵陣深く攻め込んでのスクラム。出るか伝家の宝刀！観客席から聞こえる「アレやぞアレ！」誰もが知っている産大ラグビーの代名詞、スクラムトライへの期待が膨らむ。

「タッチ・ポーズ・エンゲイジ」

ワンプッシュで出てきたボールをNo8橋本がゴールに持ち込む。久々に飛び出したトライで、8対7。

フォワードにこだわる産大、次はPR山下のラックから捻じ込む力を見せつけるトライ。続いての攻撃は、SH鈴江のハイパントからのこぼれ球を取り上げての展開でWTB徐がノー・ホイッスル・トライ。

久々に産大ラグビーが蘇る。やっぱり、フォワードで押せるゲームは強い。結果27対7で、今シーズン最高の仕上がりで快心の勝利。関西リーグ2位、博多行きを決めました。



天神、どんたく、めんたいこ、ヤフードームに王監督、キャナルシティーに中洲・・・みんなまとめて、産大カラーに染めてしまえ～！

“All for one, One for all”

関西リーグ最終戦での集中力を持続して、全国大会で産大旋風を巻き起こしましょう。期待してまっせ～！まずは博多。勝利の決め手は・・・「アレ」ですよ。



夢中さ君に～平成19年12月

「真っ赤なクルマで、いつもやって来る♪そよ風に髪が、よく似合う女の子♪」

「ザイツさん！」とここで叫んだ人は、お代官様と同世代ですが・・・

これは、昭和のミュージックシーンをリードしたチューリップの「夢中さ君に」という曲。コンサートがクライマックスに達した時に演奏する曲で、あの大ヒット「心の旅」のレコードのB面でもあるんで、同じ時代を生きてきた人にとって、思い出深いものではないでしょうか。・・・何だって、レコードを知らないって？そんな事を言う世代は、イカしてないし、「ナウなヤング」の「カワイコちゃん」じゃありませんよ！



平成19年12月16日、大学選手権1回戦の舞台は、そんなチューリップの出身地・博多で、地元福岡大学との対戦で幕開けです。関西リーグ、大阪体育大学に勝利して久々の博多。京都産業大学にとっては、早稲田大学を初めて倒した縁起の良い土地でもあります。しかも、この時期は、魚がうまい・・・ってな理由で、前日より博多へ。

寒ブリに関サバ、呼子のスルメイカなどのお刺身。海草をゼリー状にしてポン酢で食べるおきゅうと。がめ煮(筑前煮)に辛子めんたいこ、アツアツのだし汁をかけて食べる鯛茶漬。忘れちゃいけない、中洲の屋台の豚骨ラーメン。

今回は、現在単身赴任中のえちぜんさんの案内で博多三昧。宿はソラリア西鉄ホテルで、最大の繁華街でもある天神・西鉄福岡駅の隣でありながらも部屋は広いし、サービスは行き届いているし、周辺はクリスマス気分イルミネーションの華。裏手の警固公園からキャナルシティは光の輪。また、ホテルの向かいは、チューリップや海援隊、長淵剛などがレコードデビュー前に演奏していた伝説のライブハウス「照和」で少し歩けば、名曲「博多っ子純情」に綴られた、春吉橋に祇園山笠の櫛田神社。



しっかりと観光客した翌日は、博多の森競技場へ。相手は史上最強のメンバーで、九州では向かうところ敵なしという噂のホーム・福岡大学。油断したら足元をすくわれる可能性が高いアウェー・京都産業大学。スタンドでは、私設応援団が手作りの鉢巻きを配って気合いを入れる。戦いは静かに、けれどフォワード力で圧倒する京都産業大学。ドライブモールからのトライ、相手の嫌がるゴール前でのスクラムを重ねての認定トライ。

結果は、これぞ産大という力技で43対5と相手を圧倒するスコアでしたが、ハーフのパス・スピード、ディフェンスの甘さ、タッチキックの確実性とたくさんの課題を残した一戦でした。さてさて、次はホームでもある花園ラグビー場で、選手権で一度も勝った実績のない相手・明治大学を迎え討ちます。課題を克服すれば、初勝利を手にして、正月の国立競技場に行けるかも知れません。



平成19年12月23日、2回戦は花園ラグビー場。座席は関係者の皆様のご厚意で、メインスタンド最前列。バックスタンドの大応援団は、赤紺のフラッグを振って応援歌を合唱。今シーズンは、スタンドでQueenの「伝説のチャンピオン」を歌おうなんて運動をしていましたが、やっぱり昔からの応援歌が響き渡ると気合が入りますね。セレモニーは明治大学の学歌、京都産業大学の学歌(ちなみにお代官様は、卒業後かなりの年月を費やしましたが、いまだに学歌・応援歌共に歌えますよ)と続き、キックオフ。

先取点は、伝家の宝刀・・・スクラムトライ！しかも、平均体重100kg超の重量フォワードを擁する明治大学。おいおい、産大の得意技でトライされてどうするんや～！前半0対12。ノーサイドの時点でのスコアは0対29。伝統のフォワードの前になすすべもなく完敗。「今日はこれくらいにしといたろ」で今シーズンを終了しました。



今年の大学ラグビー界は、ガタガタで、年初より関西の雄が事件を起こし、昨シーズン優勝・関東リーグ戦の華のあのチームまでが大麻栽培事件で出場辞退。結果、全国大会のベスト4は、早・慶・明と帝京という対抗戦グループ上位4チームとなりました。関西リーグ、関東リーグ戦グループにとっては淋しい正月になりますが、来シーズンは、打倒対抗戦グループで、明るい話題で大学ラグビーの人気を取り戻そうじゃありませんか。

京都産業大学ラグビー部の皆さん、しっかりスキルアップして全国一を目指しましょう。大西健監督、来シーズンも魅力的なチームを作って私たちを国立に連れて行って下さい。

スタンドの私たちも、年齢を重ねても、恋する気持ちを忘れないように、夢中で母校を応援し続けたいと思っています。



「夢中さ君に、ボクが生まれて～♪初めて出会った素晴らしいこの恋よ～♪
素晴らしいこの恋よ～♪」

Back

[戻る](#)



[リーグ最下位～平成20年12月](#)